（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	こんまる若久			
○保護者評価実施期間	令和7年12月17日	～	令和8年1月31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	17	（回答者数）	16
○従業者評価実施期間	令和7年12月17日	～	令和8年1月31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	12	（回答者数）	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・本社（高齢者福祉施設）の方々との交流会や活動	・季節を通してのイベント交流 ・外出先でも、高齢者の方々との合同活動を行ったりしている ・事業所に遊びに来ていただき一緒に活動を行ったりしている	・子ども達とも、人生の先輩方との交流の機会を設けれるよう、日頃から季節の学びや生活スキルを上げていけるような支援を行って行く ・年間を通しての過ごしやすい季節や環境を調べ、スタッフ一同案を出し合い楽しい活動が出来るよう工夫していく
2	・季節行事や地域交流イベントを積極的に実施し、多様な体験の機会を提供している。 ・外出活動や交流会を通して、社会性やコミュニケーション力の向上につなげている。 ・日常支援と行事を組み合わせ、子どもが楽しみながら成長できる環境作りを行っている。 ・活動プログラムが固定化しないように5領域を取り入れている	・年間計画を作成し、季節に応じた行事や体験活動を計画的に実施している。 ・子どもの年齢や特性に配慮し、無理のない参加方法や役割設定を行っている。 ・地域や他事業所との連携を図り、安全面に配慮しながら実施している。	・子どもや保護者からの意見、要望を定期的に収集し、行事内容の見直しを行う。 ・スタッフ間で振り返りを行い、実施内容や安全対策の改善につなげる。 ・子どもの成長段階や個別支援計画に基づいた活動内容の充実を図る。
3	・日頃より連絡帳や送迎時などの面談などを通して、子どもの状況を丁寧に共有すると共に、年二回の保護者会を開催し、発達状況などや課題、支援内容について理解を深めている。 ・夏祭り、運動会、親子遠足などの季節行事を実施し子どもが多様な体験を通して成長できる機会を設けている。 ・家族参加型の行事を取り入れ、保護者同士やスタッフとの交流の機会をつくっている。	・季節行事や体験活動を計画的に取り入れ、子どもが楽しみながら社会性や協調性を育めるよう工夫している。 ・家庭での様子も共有して頂き事業所と家庭が同じ方向で支援できるよう連携を図っている。	・子どもや保護者からの意見、要望を定期的に収集し、行事内容の見直しを行う。 ・季節行事や体験活動の内容を精査し、子どもの発達段階や個別支援計画に沿った活動へと充実させる。 ・スタッフ間で定期的に振り返りを行い、支援の質の向上につなげる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・学校及び相談支援専門員などとの連携が十分といえない場面がある。	・連絡手段の統一不足や調整時間の確保が難しいこと	・定期的な連絡体制の整備により、連携強化を図る
2	・放課後等デイサービス同士の繋がり ・地域内事業所との横の連携体制の構築が十分ではない	・普段、放課後等デイサービス同士での集まりや共有できる場がない ・令和7年11月より『初心の会』の立ち上げを行う	・併用している事業所等に利用児童の普段の様子の共有を行って行く ・二カ月に一回『初心の会』の横つながりの講習会を行っている
3	・災害及び事故発生時の実践的対応力の更なる強化が必要である。	・マニュアルを整備しているが実地訓練の実施回数が十分ではない	・定期的な避難訓練及び、スタッフ研修を実施し実践的対応力の向上を図る